

## 平成 30 年度農山漁村振興交付金及び都市農業機能発揮対策事業の評価概要

平成 30 年度農山漁村振興交付金及び都市農業機能発揮対策事業の事業評価は、平成 28 年度に採択された 3 地区、平成 29 年度に採択された 19 地区、平成 30 年度に採択された 18 地区、合計 40 地区を対象に行った。

評価は、実施主体から報告された事業実施評価書等を基に、学識経験者で構成する評価委員会の意見を聴取した上で行った。その結果、計画に定められた取組が実施され、成果を十分上げていると認められる「A 評価」が 31 地区、計画に定められた取組がおおむね実施され、成果をある程度上げていると認められる「B 評価」が 9 地区となった。

本交付金及び事業を活用した取組により、地域活性化、農福連携、農泊等について推進が図られるなど、全地区において一定の成果が発現されていると認められた。

### 【平成 30 年度東海農政局における農村振興施策に関する交付金評価委員会の議事概要】

#### ○第 1 回評価委員会及び現地調査

1. 日 時 令和元年 8 月 1 日（木）10 時 00 分から 17 時 00 分まで

2. 場 所 評価委員会会場 東海農政局第 2 会議室

現地調査地区 西尾南部バイエリア協議会（愛知県西尾市）、知立市都市農業共生推進協議会（愛知県知立市）

#### 3. 出席者

評価委員会委員（五十音順・敬称略）

有本 信昭 岐阜大学名誉教授

大野 研（委員長）三重大学教養教育院教授

関根 佳恵 愛知学院大学経済学部准教授

評価委員会事務局

東海農政局担当者（地方参事官、農村計画課長、農村環境課長他 7 名）

#### 4. 議事概要

##### （1）評価委員会の委員長の選任

- ・ 委員の互選により、委員長が選任された。

##### （2）評価委員会による評価の実施について

- ・ 事務局から、「評価の基本的な考え方」及び「具体的な評価方法等」について説明し、確認を行った。
- ・ 評価にあたって、先進的な取組がある場合は、総合的評価の参考とするための情報が必要であるとの要望があり、委員に対して事前に必要な情報・資料の提供を行うことについて確認した。

##### （3）農山漁村振興交付金及び都市農業機能発揮対策事業の評価対象地区の概要等について

- ・ 事務局から、当該交付金の概要並びに、評価対象 40 地区の概要について説明を行った。
- ・ 委員からは、特段の質問等はなかった。

##### （4）今後のスケジュール等について

- ・ 事務局から、9 月 11 日開催の第 2 回評価委員会（評価結果のとりまとめ）に向けて、各委員による評価及び検証を依頼し、委員の了承を得た。

## 5. 現地調査

- (1) 西尾南部ベイエリア協議会
  - ・ 平成30年度～令和元年度農山漁村振興交付金（農泊推進対策）実施地区
- (2) 知立市都市農業共生推進協議会
  - ・ 平成30年度～令和元年度農山漁村振興交付金（都市農業機能発揮対策）実施地区

## ○第2回評価委員会

1. 日 時 令和元年9月11日（水）15時30分から17時00分まで
2. 場 所 東海農政局第2会議室
3. 出席者  
評価委員会委員（五十音順・敬称略）  
有本 信昭 岐阜大学名誉教授  
大野 研（委員長）三重大学教養教育機構教授

### 評価委員会事務局

東海農政局担当者（地方参事官、農村計画課長他11名）

## 4. 議事概要

- (1) 評価結果のとりまとめについて
  - ・ 評価対象の40地区について、各事業実施主体から提出された事業実施評価書等を基に、各委員の評価及び検証内容の確認を行い、評価委員会としての評価（ABC評価及びコメント）について議論が行われた。
  - ・ 委員会では、農福連携対策については障がい者雇用の考え方についての確認のほか、農泊推進対策については先進的な取組に対する評価等について議論が行われた。その結果、「A評価」が31地区、「B評価」が9地区となった。
  - ・ 評価の結果を踏まえ、実施主体に対して不十分だったところなどをわかりやすく伝え、目標年度につなげていくことが重要であるとの意見が出された。
- (2) 評価コメントについて
  - ・ 上記（1）の評価結果に基づいて、評価コメントを委員会として決定し、東海農政局長へ報告することとした。

### 平成30年度 農山漁村振興交付金(都市農村共生・対流及び地域活性化対策) 事業実施主体 評価一覧

#### ●地域資源活用対策及び人材活用対策(都市農村共生・対流)

#### 【農山漁村の「食」を活用し観光と連携したグリーン・ツーリズム】2地区

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H28	H29	H30	R1	R2	R3		
東海農政局	岐阜県	高山市	ふるさと体験飛騨高山	●	●	■	/	/	/	A	高速バス事業者並びに観光団体等との連携体制構築、高速バスを活用した交流プランの企画・試行、都市圏からの顧客誘致のための情報発信など、計画に基づく取組がほぼ実施されており、バス利用体験顧客などの目標がおおむね達成されている。これら新しい取組と既存の取組(近郊及び隣接県などからの教育旅行)の合計が事業実績となるが、後者は年変動が大きいのが特徴である。平成30年度は後者の受け入れ学校数が前年度より減少したものの、全体としては成果を上げているものと認められる。
東海農政局	愛知県	大府市・東浦町	ウェルネスバレー推進協議会 グリーン・ツーリズムワーキンググループ	●	●	■	/	/	/	A	農作業体験等の農業PR活動、農作物の海外向け手土産販売、大府駅でのマルシェなど、計画に基づく取組がほぼ実施されており、交流人口等が猛暑や台風の影響により目標を下回ってしまったが、成果を上げているものと認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○●交付対象年度(計画) ●●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A●優良 B●良好 C●低調

#### ●地域資源活用対策及び人材活用対策(地域活性化対策)

#### 【(1)活動計画策定】1地区

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評価コメント
				H28	H29	H30	R1	R2	R3		
東海農政局	三重県	御浜町	尾呂志地区活性化プラン推進委員会	●	●	●	○	○	/	A	直売所の新商品の検討、米づくりの改良試験、郷土料理の商品開発、ITを活用した情報発信等の取組による「地域おこし」、高齢者生活支援のための畦畔管理や農作物集荷に関するサービスの試行による「地域づくり」等が実施されたが、生産者の高齢化により、直売所の品不足が生じ、また大雨による天候不順や台風の影響により品不足となった。このこともあって、交流人口の実績、売り上げ実績は、減少傾向にあり、今年度も前年度と比較し少し減少となった。 また、振興推進計画と比較して、交流人口、売上げの実績が未達成な部分はあるものの、成果を上げているものと認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○●交付対象年度(計画) ●●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A●優良 B●良好 C●低調

●農福連携対策(農福連携普及啓発等推進対策事業を除く)

【福祉農園等整備・支援事業(福祉農園等整備事業・福祉農園等支援事業) 5地区

農政局等	都道府県	市 町 村	事業実施主体名	事業実施段階						評価	評 価 コ メ ン ト
				H28	H29	H30	R1	R2	R3		
東海農政局	岐阜県	山県市	(株)TFF		●	●	□			A	新たな6次化商品の開発と新たな販路の開拓により、目標値は達成出来なかったが売上を増加させることができた。また、障がい者が作業しやすい生産体系を構築し、新たな加工商品を生産することが可能となり、障がいの加工技術向上が、仕事に対する自信を持つことに結び付いた。また、地域活動として、地域の規格外農作物の利活用や地域の特産品の生産者や担い手不足解消のための取組を行っており、地域在住の障がい者や特別支援学校の生徒を招待した収穫祭で事業実施主体の取組、農業の魅力を知ってもらうことで参加者のうち1名の雇用につながったことなどから、成果を上げているものと認められる。
東海農政局	三重県	鳥羽市	(株)ファーム海女乃島		●	●	□			A	夏の猛暑の影響で雇用者2名が退職し、また、冬場の野菜の安値の影響で売上は伸び悩んだが、イベントの開催、HP、パンフレット作成等により水耕栽培野菜、食用花の販売の促進を図った。JGAP認証を取得(食用花、リーフレタス)し、県内外のイベント等参加による農福連携JGAP認証農場として知名度をアップさせており、成果を上げているものと認められる。
東海農政局	三重県	伊賀市	NPO法人えん		●	●	□			A	耕作放棄地を利活用し、土耕栽培を行い、野菜の生産・管理・収穫・出荷において、地域のニート・引きこもり・障がい者・生活困窮者等に参加してもらい、自立支援に携わった。また、農場長が小学校へ出向き、農業に関する講義を行い、児童に農業の楽しさを伝え、担い手啓発活動を行った。販売に関して、地域のスーパーの地場産コーナーで販売を行った。新たな耕作放棄地の利活用として、栗の栽培を始めるとともに、地域の農業従事者との連携を深め、共同での野菜の販売や生産を行った。また、職員の資質向上のため、施設内外の研修を実施した。これらの取組により、就労困難者等の就労支援、地域の学校での啓発活動や地域の農業従事者との生産販売の連携等、成果を上げているものと認められる。
東海農政局	三重県	名張市	名張市障がい者アグリ雇用推進協議会		●	▲	□			A	平成29年度(1年目)に整備した休憩施設(トイレ付)を利用することにより、就労訓練をスムーズに実施することができるようになった。作業効率が上がり、その結果、販売金額は目標値を達成できなかったが、収穫及び販売の向上につながっていることから、成果を上げているものと認められる。
東海農政局	三重県	尾鷲市	(株)やきやまふあーむ		●	▲	□			B	平成29年度に導入した椎茸の菌床簡易仕込み装置を使用して、平成30年4月より菌床の自社製造を開始し、同年8月ごろから自社製造した菌床からの椎茸収穫を開始した。製造した菌床や椎茸に品質上問題が発生したが、専門家の指導を受け改善を図った。また、前年の同じ期間の菌床購入費と比較した場合、コスト削減が認められ、今後菌床購入費を抑えることができる見込みであることから、成果をある程度上げているものと認められる。また、菌床製造技術向上のため先進施設の視察を実施。地域活性化を図るため、収穫祭を実施した。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○●交付対象年度(計画) ●●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済) △●交付対象外年度(計画) ▲●交付対象外年度(実施済)  
ハード対策 ☆●交付対象年度(計画) ★●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A、B、C (事業実績の内訳については、a、b、c)

平成30年度 農山漁村振興交付金(地域活性化対策)  
事業実施主体 評価一覧

●地域活性化対策

2地区

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
				H30	R1	R2		
東海農政局	岐阜県	美濃加茂市	みのヤギ協議会	●	○	□	A	目標達成に向け、稲わらアート、山羊マルシェ、夏休みキッズクラブ、手土産プロジェクト、耕作放棄地農業が実施された。実施にあたり、当該協議会の構成員に加え、連携する団体及び個人が、都市との交流、地域住民との交流が生まれる場を作り、目標を達成する参加者があった。また、耕作放棄地の解消に繋がる農作物の生産から販売までを、加茂農林高校を中心に実施しており、成果を上げているものと認められる。
東海農政局	岐阜県	下呂市	金山のちから協議会	●	○	□	B	金山地域の活動計画の策定を行い、その計画に位置付けた田舎レストランJuju庵の運営、地域資源・取組全体のブランド作りとパッケージ化を検討して共通のデザイン「のうかな(農業×金山)」を考案し、その情報発信基地として移動店舗「のうのうスタンド」の作成をするとともに、特産品として開発した「栗こわい団子」の販売を行った。また、都市住民が農村に定住するために、移住定住促進用の冊子の作成、金山の魅力を伝えるホームページの作成を行うなど、目標達成に向けて様々な取組を実施した。

(注1)「事業実施段階」の凡例： ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2)「評価」の区分： A・・優良 B・・良好 C・・低調

平成30年度 農山漁村振興交付金(都市農業機能発揮対策)  
事業実施主体 評価一覧

都市農業機能発揮対策事業 1地区

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評 価 コ メ ン ト
				H30	R1	R2		
東海農政局	愛知県	知立市	知立市都市農業共生推進協議会	●	○	□	A	都市住民と農業の共生を目指したシンポジウムを開催し、都市住民の農業への関心を高め、都市農業の機能について理解醸成を図っている。そして高校や小学校と連携し、子ども達を通して農業への関心を高めている。 さらに軒先販売スタンドにより都市農業者の畑作経営の安定を図るとともに、都市住民と農業者をつなぐツールとして活用し、都市住民と都市農業の共生が図られていることから、成果を十分上げているものと認められる。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調

平成30年度 農山漁村振興交付金(農福連携対策)  
事業実施主体 評価一覧

●農福連携対策(普及啓発等推進対策事業を除く)

5地区

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評 価 コ メ ン ト
				H30	R1	R2		
東海農政局	岐阜県	郡上市	社会福祉法人 ぶなの木福 社会	● ★	○	□	B	低コスト耐候性ハウスを設置するとともに、当初計画していた葉物野菜の水耕栽培プラントの導入を変更し、夏秋トマト隔離型培地耕(3S)システムを導入し、平成31年3月に苗を定植した。専門家による技術指導研修を行い、3Sシステムを利用している農家の視察を行った。台風による農業資材の不足の影響等で施設の完成が遅れ、トマトの収穫には至らず売上げを計上出来なかったが、生育は順調であり、令和元年5月以降の収穫を見込んでいる。
東海農政局	岐阜県	土岐市	社会福祉法人 陶都会	● ★	○	□	A	イチゴ高設栽培用の耐候性ハウスの設置、井戸の掘削、配管、電気設備の設置、招聘した講師による栽培技術指導研修、施設利用者の研修への参加、栽培マニュアルの作成を行うとともに、販売交流会を実施し、農福連携事業の取組をPRした。台風の影響により、本事業で予定していたイチゴについては収穫に至らず、売上げを計上できなかった(別途栽培したレタス等の売上げを計上)が、イチゴの結実には成功した。事業実施計画に定めた取組内容がほぼ実施されており、成果を上げているものと認められる。なお、取組が新聞へ掲載されることにより、農福連携の認知度を向上させた。
東海農政局	岐阜県	飛騨市	社会福祉法人 めひの野園	● ★	○	□	B	食鳥処理施設の整備を行うとともに、招聘した専門家による技術指導を作業に従事する職員及び事業所利用者が受けた。食鳥処理衛生管理者の指導の下、食鳥処理を行い、事業所利用者が串打ちや包装作業を行った。施設の完成が予定より遅れたため、1年目の売上げは目標値を達成できず、2年目以降も他の養鶏業者から食鳥処理業務を受託しなければ売上げ目標達成が見込めないため、朝締めした地鶏を当日中に納品できるという施設の強みを周知し、処理業務の受託増加を図る必要がある。取組が新聞へ掲載されることにより、農福連携の認知度を向上させるとともに、朝締めした地鶏が当日中に納品されることを知った飲食店から注文や問合せが相次いだことから、販路の拡大に繋がる期待が持てる。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
				H30	R1	R2		
東海農政局	岐阜県	岐阜市	就労支援センター ジーワン(株)	● ★	○	□	B	枝豆加工施設(空調設備、厨房機器、排水設備、冷蔵庫等の導入)を整備し、専門家の技術指導(勉強会)による加工技術の習得、鮮度保持機を使用しての鮮度保持の確認を行った。交付決定の時期(平成30年12月末)の関係で原料の枝豆の仕入れが出来なかったため、1年目は売上げを計上出来なかったが、来期の栽培計画を策定するとともに、雇用者を目標値より1名多く雇用するなど来期に向け準備を進めている。
東海農政局	岐阜県	池田町	(株)ハタノ	● ★	○	□	B	農業用倉庫、野菜洗い場の整備、要介護者による土壌づくりの実施、専門家の指導により運営規程、栽培マニュアルを作成した。工事計画の変更等により、売上げ、交流人口が目標値を達成出来なかったが、要介護高齢者が農業活動を通じて機能訓練や認知症ケアを行う取組に専門家と連携して取り組んでいく。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済) △・・交付対象外年度(計画)  
ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調



平成30年度 農山漁村振興交付金(農泊推進対策)  
事業実施主体 評価一覧

## 23地区

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階				評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2		
東海農政局	岐阜県	中津川市	加子母森林組合	●	● ■			A	インバウンド受入体制の確立、森林ツアーなどの商品化、「加子母でよみち」パンフレットの作成など、計画に基づく取組が実施されており、売上げ、林業体験者数については、目標値をいずれも上回っており、林業を中心とした農泊の推進において、成果を上げているものと認められる。
東海農政局	岐阜県	郡上市	郡上民泊推進協議会	●	● ■			A	農泊ワンストップ窓口機能の構築、農泊の営業活動、韓国の高校生・中学生等の受入、講習会の開催など、計画に基づく取組が実施されており、売上、体験人数等の目標についてほぼ達成されていることから、成果を上げているものと認められる。
東海農政局	岐阜県	郡上市	食と体験の国・めいほう推進協議会 郡上市	● ★	● ■ ★	◇		A	体験旅行モニターツアーの実施、都市の対象団体への営業活動、食育サポーターの育成、「食」による多様な企画の立案など、計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊人数の目標についても、ほぼ達成されていることから、成果を上げているものと認められる。
東海農政局	岐阜県	下呂市	馬瀬地方自然公園づくり委員会	●	● ■			A	地域食材を使った新たなメニュー開発、宿泊業者(ホテル美輝)、飲食店(馬瀬さとやま株式会社)の代表を対象に料理指導、電動アシスト付き自転車を活用したツアー商品の造成、馬瀬独自のインバウンド受入を行うための講習や調査、情報発信など、計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊人数の目標についても、ほぼ達成されていることから、成果を上げているものと認められる。
東海農政局	愛知県	新城市	特定非営利活動法人奥三河田舎くらし隊	●	● ■			A	古民家実態調査、観光資源調査・商品開発、農泊推進の研修会、ウェブサイトの新設、モニターツアー、展示会出展など、計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊人数の目標についても、すべて達成されていることから、成果を十分上げているものと認められる。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階				評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2		
東海農政局	三重県	津市	太郎生の美しい棚田・里山等を生かした地域づくり推進委員会	●	● ■			A	事業推進体制は取組み課題ごとに責任者が設けられ、効果的な体制がとられている。既存の活性化交流施設(たろっと三国屋)と宿泊体験施設(城山クラインガルテン)を活用し継続的な農泊事業を推進するためのモニターツアーの実施、多様な手法を活用した情報発信の取組みにより地域の認知度向上が図られている。また、新たな地域資源として、森林セラピー基地を農泊メニューに活用しており、計画に定めた取組みが実施されている。 これらにより、売上げや宿泊者数の目標が達成されていることから、成果を十分に上げているものと認められる。
東海農政局	三重県	鳥羽市 志摩市	鳥羽渚泊推進協議会	●	● ■			A	学生インターンシップの受入を行い、ツアープログラムの開発を行い、一般・企業向けモニターツアーを実施した。また、事業を通して、今後、関係団体と協同して事業を推進していく方向性が示され、概ね目標が達成されたことから、成果を上げているものと認められる。
東海農政局	三重県	大紀町	大紀町地域活性化協議会	●	● ■			A	言語のバリアフリー化のための多言語に対応した受入体制づくり、大紀町の農林水産物を使った「食」のメニュー開発、地域資源を活用した新しい体験プログラムの開発、古民家や空き家を活用した体験民宿や体験交流施設の開業支援、商談会出展ならびに営業活動、インバウンド観光先進地視察など計画に基づく取組が実施されており、売上げ、宿泊人数の目標についても、ほぼ達成されていることから、成果を上げているものと認められる。
東海農政局	岐阜県	恵那市	中野方農泊推進協議会	●	● ■			A	農泊推進のワークショップ、農家民宿先進地視察、長期観光計画の作成、体験メニューの磨き上げ調査並びに食文化研究として食事メニュー改善と新商品開発、「栗と米のお菓子づくり講座」の開講、棚田ガイドウォーク&栗拾い、農泊体験等のモニターツアー、食文化PRパンフレット、食関連PRツール製作など計画に基づく取組が実施されており、売上等の目標もほぼ達成されていることから、成果を上げているものと認められる。
東海農政局	岐阜県	恵那市	奥矢作移住定住促進協議会	●	● ■			A	地域観光資源の商品化と合意形成、農泊推進中核づくりの準備、マーケティング活動の実施など取組が計画どおり実施されており、売上げなど目標についてもすべて達成されていることから、成果を十分に上げているものと認められる。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階				評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2		
東海農政局	岐阜県	飛騨市	飛騨地域里山資産活用協議会	●	● ■			A	地域資源、魅力あるコンテンツを発掘するため、地元料理人など専門的スキルを活用し、特色ある飛騨版農泊の構築として「飛騨の食材ブランディング」の取組、セミナーを通じた既存プログラムの紹介など計画に基づく取組が実施されており、売上等の目標が達成されていることから、成果を上げているものと認められる。
東海農政局	愛知県	豊田市	とよたグリーンツーリズム推進協議会 (株)里の館	● ★	● ■	◇		A	インバウンド誘客を目的としたWeb等によるプロモーション、古民家の魅力やアクセス方法等を伝えるリーフレットの作成、生産農家と連携した魅力的な体験商品の開発を行うために、豊田市茶業組合と実現可能な体験プログラムについて研究する座談会を実施するなど、計画に基づく取組が実施されており、売上等の目標が達成されていることから、成果を十分上げているものと認められる。
東海農政局	三重県	鳥羽市	相差地域海女文化活性化協議会 相差海女文化運営協議会	● ★	● ■ ★	◇		A	地域の不足業種である飲食店の改修や海女のブランドプロモーションなどが行われ、地域活動団体の販売額や外国人宿泊者数は増加している。また、関係者との情報共有やガイドの育成など効率的に事業を実施していることから目標は概ね達成していることから、成果を上げているものと認められる。
東海農政局	岐阜県	高山市	ふるさと体験飛騨高山		●	○ □		A	外国人対応体験プログラム(そば打ち体験、朴葉寿司づくり体験)の実施、外国語コミュニケーション講座の開催、外国語対応ホームページの作成など体験型観光における外国人旅行者の受入体制の構築及び学生インターンシップの受入、旅行エージェント、学校等関係者への働きかけなど教育旅行受入体制の継続化の取組など計画に基づく取組が実施されており、地域の売上高等の目標についても、達成されていることから、成果を上げているものと認められる。
東海農政局	岐阜県	美濃市	美濃農泊推進協議会 みのまちや(株)		● ★	○ □	◇	B	古民家の改修、体験プログラムの造成、食文化創造、広域展開に向けた取組、情報発信など計画に基づく取組が実施されており、成果を上げる準備が整いつつある。宿泊者数について開業前のため目標値を設定していないが、今後、改修した古民家を活用した取組により、目標達成することが期待される。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階				評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2		
東海農政局	愛知県	西尾市	西尾南部ベイエリア協議会		●	○ □		A	うなぎの蒲焼き体験、漁船体験等9個の体験プログラムの開発、「一色・佐久島モニターツアー」を構築し、ツアー3回を開催、うなぎドーナツ、うなぎ春巻きなど6品の特産品、新メニューを開発するなど計画に基づく取組が実施されており、地域の売上高など目標についても達成されていることから、成果を十分上げているものと認められる。
東海農政局	愛知県	南知多町	南知多農泊推進協議会		●	○ □		A	朝市、朝もぎ体験など滞在型コンテンツの磨き上げと品質向上、地域交流マネジメント研修会の開催や先進地視察を通じて、農泊推進の牽引役として活躍できる地域人材を育成、観光コンテンツ情報のWeb掲載など計画に基づく取組が実施されており、地域の売上高など目標についても達成されていることから、成果を十分上げているものと認められる。
東海農政局	三重県	津市	InakaTourism推進協議会		●	○ □		A	モニターツアーの実施やおもてなしセミナーの実施など受入体制の整備に係る取組、専門家を招聘した勉強会、インターンシップの受入など体験コンテンツづくりに係る取組、ファムトリップ開催、セールススクールの実施などプロモーションに係る取組など計画に基づく取組が実施されており、地域の売上高などの目標についても達成されていることから、成果を十分上げているものと認められる。
東海農政局	三重県	尾鷲市	須賀利渚泊推進協議会		●	○ □		B	地域住民へのセミナーや地域交流会の開催、ビレッジデザインワークショップや体験プログラム開発、須賀利レシピの磨き上げ、漁村体験による地域資源開発が行われている。宿泊者数は目標を上回ったものの、売上げは民宿営業手続に時間を要し無料での宿泊体験を実施したことから売上げは低調となっているが、漁業に県外企業が参入した全国初の事例で先進的なモデル的事業となっており、今後の成果が期待される。
東海農政局	三重県	志摩市	里海泊事業推進協議会		●	○ □		A	真珠体験ツアーのPR、情報発信ツールの整備や活用によりツアー客の誘客が図られ、モニターツアーによるツアーのブラッシュアップが行われている。これらの活動は、協議会の構成員が連携を図りPRイベントの開催、受入体制の整備など計画に基づく取組の着実な実施により、目標を概ね達成していることから、成果を上げているものと認められる。

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階				評価	評価コメント
				H29	H30	R1	R2		
東海農政局	三重県	伊賀市	(株)七転八倒		●	○ □		B	<p>里山条件整備、林業体験、モニター体験など計画に定めた取組はおおむね実施されている。事業実績については、基本屋外で体験するプログラムが中心であったため、9月の台風の影響などもあり、事業実績は低調だったものの、今後、Airbnbの活用により民泊施設への受入体制を強化することとしている。</p> <p>また、株式会社七転八倒は、戦略的に情報発信を行うために若い専門の職員を雇っており、7月末の農泊事業者間の情報交換会の中で123万件を超えるホームページのアクセス数があったことが紹介されるなど、情報発信において先進性がありモデル的な取組が行われていることから、今後の成果が期待される。</p>
東海農政局	三重県	大台町	大台町観光DMO推進協議会		●	○ □		A	<p>インバウンドに対応した体験プログラムの開発、販売、顧客データベースを活用した地域回遊と商品販売環境の構築など計画に基づく取組が実施されており、地域の売上高など目標についてもほぼ達成されていることから、成果を上げているものと認められる。</p>
東海農政局	岐阜県	中津川市	馬籠ルネッサンス実行委員会		●	○ □		A	<p>農泊実施組織の体制整備および地域住民との十分な連携を図るため、人材育成のための専門家招聘による業務勉強会、地域産業振興及び回遊型・滞在型コンテンツの磨き上げのための資源調査、宿泊施設及び飲食事業者への意向調査、体験プログラム等商品開発など取組が計画どおり実施されており、売上げなど目標についても達成されていることから、成果を上げているものと認められる。</p>

(注1) 「事業実施段階」の凡例： ソフト対策 ○●交付対象年度(計画) ●●交付対象年度(実施済) □●目標年度(計画) ■●目標年度(実施済)  
ハード対策 ☆●交付対象年度(計画) ★●交付対象年度(実施済) ◇●目標年度(計画) ◆●目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分： A●優良 B●良好 C●低調

## 平成30年度 都市農業機能発揮対策事業実施地区 評価結果

### 地区の評価結果 共生推進地域支援事業

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			総合的 評価	取組 状況	事業 実績	実施 体制	評 価 コ メ ン ト
				H29	H30	R1					
東海農政局	愛知県	豊明市	愛知豊明花き流通協同組合	●	●	□	A	A	A	A	実施計画に基づき、マルシェを開催し、名古屋周辺の都市住民に豊明産エディブルフラワーの試食や花の寄せ植え等を体験してもらうことにより、花きを生産している都市農業に対する関心と理解を醸成した。観賞用の花きと食べものであるエディブルフラワーを組み合わせることで、幅広い世代を対象にできた。事業実施計画の数値目標については、すべて達成していることから、成果を十分上げているものと認められる。

※ 「事業実施段階」の凡例： ○・・・交付対象年度(計画) ●・・・交付対象年度(実施済) □・・・目標年度(計画) ■・・・目標年度(実施済)

※ 評価の凡例： A・(優秀)、B・(良好)、C・(低調)